

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月11日更新

事務事業名		子ども会育成連絡協議会助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	牧野 淳一
	施策	4 子育て支援の充実				所属課	生涯学習課	担当者名	寺本 健志
	施策の柱	17 地域における子育て支援				所属班	生涯学習班	(内線)	1514
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10816	根拠法令 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・子ども会育成連絡協議会が行う活動(スポーツ大会の開催、ジュニアリーダー研修、子どもフェスティバル共催協力等)を支援するため、補助金の交付を行い、子ども会活動の活性化を図る。 ・子どもフェスティバル実行委員会への補助金の交付を行い、事務局として開催支援を行う。
【業務の流れ】	年5回の理事会を開催し、子ども会活動の企画・運営を行う。また、各種研修等に参加し、本市の社会教育推進の一助を担う。
【主な予算費目】	職員手当等、旅費、負担金補助
【意見や要望】	加入率低下に伴い、単位子ども会の休会が目立つようになっている。広域化を視野に、コミュニティを活かした活動実施に活路を見出したい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	① 手段(主な活動) 5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・理事会(4月・5月・9月・11月・3月)を開催した。・総会(4月)を開催した。・スポーツ大会(7月:ビーチボールバレー)を新型コロナウイルス感染拡大防止により中止とした。・ジュニアリーダー5名が九州地区ジュニアリーダーくまもと大会に参加した。・合志市ジュニアリーダー活動(7月・9月)を実施した。・子どもとうろうフェスティバル(10月)を開催した。・育成会長会議(1月)を開催した。・金融教育ワークショップ(2月)を開催した。	・理事会(5回:4月・5月・9月・11月・3月)の開催・総会(4月)の開催・育成会長会議(12月)の開催・スポーツ大会(7月)の開催・ジュニアリーダー活動の実施	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
ア: 助成金及び補助金の額		職員人件費単価の減に伴う時間外勤務手当の減
イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市内の小中学生	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		ア: 合志市内の子ども
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	社会教育推進とおした学校教育の補強	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 団体
		ア: 地域のボランティア数(子ども110番の家の数、子ども会の組織数、子育てサークル、母親クラブ)
		イ: 小中学生の子ども会員数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
子ども会活動の活性化は、地域力を強化する基盤になると考える。学校以外の学びの場を創出することで、子どもたちが「活躍・成長する機会」を提供し、将来の合志市を支える人材を育成していきたい。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア	千円	200	760	1,520	805	1,520	1,520	1,520	1,520
	イ									
② 対象指標	ア	人	7,000	7,173	8,200	7,429	8,300	8,400	8,400	8,400
	イ									
③ 成果指標	ア	団体	350	350	380	350	380	380	380	380
	イ	人	1,141	914	1,800	1,152	1,800	1,800	1,800	1,800
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	207	614	1,803	1,690	1,799	1,799	1,799
	(A) 事業費計	千円	207	614	1,803	1,690	1,799	1,799	1,799	1,799
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	5	4	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	525	395	157	395	157	157	157	157
	(B)人件費計	千円	2,070	1,544	625	1,503	625	625	625	625
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,277	2,158	2,428	3,193	2,424	2,424	2,424	2,424

事務事業名	子ども会育成連絡協議会助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 「子どもフェスティバル」の代替イベントとして、「子どもどうろうフェスティバル」を開催するなど、
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ジュニアリーダー活動を軸に、子ども会活動の新しい姿を構築する。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 助成金の支払い事務なので向上余地は無い。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に同様の事業は無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金は必要最低限のものであり、削減は難しい。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市全域にわたり子どもが加入している組織や子どもに係るイベントは他には無く、助成金のレベルに相応していると思われ、公正さは保たれている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 助成金の支払い事務は行政事務であるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

助成金の支払い事務は滞りなく実施され、当初の目的は達成された。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						